



公益社団法人 埼玉県看護協会

さいたま

Nursing

雲海 (提供: 秩父市)

No. **130** 2022.1.26

特集 ともに、つくる、「看護」

看護師のキャリア展望

特定行為研修修了者の実践

4~5

- ❖ ごあいさつ 2
- ❖ 令和3年度 埼玉看護研究学会を開催して 3
- ❖ 3.11メモリアル企画 3
- ❖ 看護職のための心の保健室「あじさいルーム」延長決定 3
- ❖ 埼玉県ナースセンター 6~7
- ❖ お知らせ 8

会員数 **25,703**名 (2021.11.30 現在)

保健師

422名

助産師

954名

看護師

23,707名

准看護師

620名

埼玉県看護協会ホームページ
<https://www.nurse-saitama.jp>



ごあいさつ

公益社団法人埼玉県看護協会 会長 松田 久美子



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症と対峙して、2年の月日が過ぎようとしています。会員の皆さまには緊張と苦悩の日々であったと推察いたします。心より敬意と感謝を表します。

昨秋、一旦の落ち着きを見せた状況も新たな変異株の出現に伴って再び感染が急拡大しております。しかしながら、どのような状況にあってもこの2年間で学んだことを油断せず粛々と実践してまいりましょう。

さて、今年度もコロナ禍ではありましたが、定款に定められた事業および重点事業についてはおおむね実施してまいりました。4月当初よりオンライン研修を開始し、例年どおり新人研修をはじめとする研修を実施。研修管理システム(マナブル)につきましても、会員の皆さまのおかげをもちまして徐々に円滑な運用につながりました。IT化を推進し、オンラインと対面の研修を組み合わせ、教育効果のみならず研修生の皆さまの満足を達成するために熟慮しましたことは、成果としてご評価いただいております。令和2年度は見送りとなりました「認定看護管理者教育課程」も全コースを開催いたしました。

一昨年12月に看護を考える委員会がまとめた「令和2年度新型コロナウイルス感染症対応実態調査報告書(第1報)」の結果をもとに、看護職のための心の保健室「あじさいルーム」と「感染症予防対策相談」事業を4月より実施しました。会員・非会員を問わずご活用され好評をいただいております。いましばらくの継続を考えております。

また、日本看護協会の入会促進活動に呼応して、埼玉県看護協会におきましても組織強化委員会および支部長会等を通じた活動を行いました。入会のメリットとともに本来の入会の意義をお伝えするために「会長メッセージ」動画を作成いたしました。私たち看護職が命と健康を守る専門職として職能団体に加入する意義と、会長としての願い「会員ゼロの施設をなくす」ことをお伝えしております。令和4年はさらに皆さまに思いを届けることができるよう工夫してまいります。

看護協会の使命である「県民の健康な生活の実現に貢献する」に向けて活動することができますことは、多くの皆さまのご理解・ご協力の賜物とお礼申し上げます。これまでの活動を振り返り、次年度の事業計画に反映してまいります。

本年もご指導・ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和3年度 埼玉看護研究学会を開催して

開催日 2021年12月4日(土) 形式 会場・WEB併用開催 参加 288名

2021年12月4日に第29回埼玉看護研究学会を「今こそ看護—看護の力で未来共創—」というテーマで開催し288名のご参加をいただきました。初めての会場とWEB併用の開催のため至らない点もあったと存じますが、参加いただいた皆様に深く感謝申し上げます。口頭発表ではWEB参加者も含めた活発な質疑応答がされました。特別講演では、東京情報大学の松下博宣先生より「ヘルスケア革命における看護の役割」というテーマでご講演いただき、多職種連携のハブとしての看護への期待の大きさ、多職種連携の促進にもつながる看護師の主観的幸福感を高める大切さを学びました。ワンポイントレクチャーでは、人間総合科学大学の渡邊成先生より「研究成果を100%伝えるためのプレゼンテーション」というテーマで、研究発表の口演原稿の作成方法をご講演いただきました。全員での対面型集合はできませんでしたが、WEB参加による利点も実感できる学会となりました。次年度はより充実した学会開催を検討してまいります。

〈学会委員長 山岸直子〉

参加者のこえ

コロナ禍でも、個々の看護実践に真摯に向き合い「少しでもよくしたい」という思いで研究に取り組まれていた発表者の皆さんの活動に感謝し、励まされました。「コロナ禍だから」を言い訳にせず、自施設に持ち帰り参考にさせていただこうと思いました。



発表者以外はWEB参加



奨励賞授賞式(安東病院 茂木 香 様)

3.11メモリアル企画 いのちをつなぐ備えと暮らし—過去の教訓から—

講演

- ・災害に対する山崎製パンの取り組み 13:00~14:00 山崎製パン株式会社 総務部長 伊藤慎一 氏
- ・災害への備え 14:00~16:00 さいたま市民医療センター 内科副部長・救急総合診療科長 坪井 謙 氏

日時

2022年3月11日(金) 13:00~16:00

形式

オンライン

定員

80名

参加費

会員2,000円 非会員6,000円

申込方法

マナブルよりお申込みください(〆切2/25)

<https://nurse-saitama.manaable.com/>



看護職のための心の保健室「あじさいルーム」 延長決定

皆さまのお声を受けて実現した心の相談室「あじさいルーム」は、会員・非会員を問わずご利用いただいております。おかげ様でご好評をいただいております。令和3年12月までと予定していた運営期間を延長することになりました。令和4年も引き続き皆さまのご予約をお待ちしております。

ご予約はこちらから ▶ <https://www.nurse-saitama.jp/ajisai/>
相談員 臨床心理士・公認心理師 菊池礼子 氏



特定行為研修修了者の実践

「特定行為に係る看護師の研修制度」は、保健師助産師看護師法に位置付けられた研修制度で、2015年10月から開始されています。特定行為は、診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる21区分、38行為を指します。研修を修了した看護師は、患者さんの状態を見極め、タイムリーな対応をすることが期待されています。

本号では、特定行為研修を修了し各現場で活躍されているお二方と、研修受講前から体制整備・支援をされてきた管理者の方にお話を伺いました。

【在宅】訪問看護師
久保 茉莉香 氏



Q. 特定行為研修を受けるきっかけを教えてください

A. 同期に誘われたことがきっかけです。当時は30代後半、スキルアップを図りたいと考えていたタイミングでした。「やってみるか」という気持ちで始めたのを覚えています。いざ受講してみると精神的に苦しい時もありましたが、時間をかけてじっくり学ぶのは学生以来。楽しく進めることができました。

Q. 区分の選択はどのようにされましたか

A. 「いつかは訪問看護の道に」という希望があったので、在宅の分野を選びました。研修中に訪問看護ステーションに異動になり、業務に慣れるまでは課題との両立で余裕を失いましたが、上司や周囲のスタッフのサポートを受けて研修に集中することができました。

Q. 研修修了後の実践についてお聞かせください

A. 特定行為研修を修了し、鼻息荒く「活かしている!」と意気込んでいましたが、順調に特定行為を行うことは叶いませんでした。研修受講の意義について思い悩んだこともありましたが、学んだことを基に、脱水・褥瘡などの危険を予測して予防することができていることに気が付きました。受講がアセスメント能力の向上に役立っていました。

Q. これからの活動についてお聞かせください

A. 特定行為研修制度が始まってから日が浅いですが、今後さらに様々な職種の方に周知されることで活動の場が広がっていくのだろうと考えています。

管理者からのエール

看護副部長
堀口 公子 氏



当院は2019年度に特定行為研修を開始し、研修を修了した看護師が4名、2020年度に研修を開始した看護師が6名在籍します。資格取得に際しては実習時に主治医、患者・家族への説明で特定行為に対してのご理解と協力が得られるよう調整を行いました。資格取得後は、症例発生時に「特定行為対象であるか」の判断に対して相談を受け、主治医との関係を図る等の支援を行っております。

特に在宅の場で活動する訪問看護は、病院と異なり医師不在の場で看護師が患者状態を判断する場面が多くなります。研修で得た臨床推論の知識を活用し、タイムリーに患者状態を評価し、医師に対して治療に関する提案ができることが患者の症状悪化を予防することに繋がり、患者様にとって大きなメリットとなります。今後も特定行為研修修了生には習得した知識を活かし、より効果的な医療の提供が行えることを期待しています。

profile

所属施設・部署：JCHO埼玉メディカルセンター（さいたま市浦和区） 訪問看護部
2019年～2020年にかけて特定行為研修を受講



【病院】救急外来・ICU看護師
山中 大和 氏



Q. 特定行為研修を受ける
きっかけを教えてください

A. 医師が緊急手術など多忙でドレーン抜去ができず離床介入が遅れるなど、タイムリーな介入が来ていないことに歯がゆさを感じていたことがきっかけでした。

Q. 研修を受講して
大変だったことはありますか

A. スケジュール的にタイトなこともありましたが、新しい知識を得ることの楽しさや、技術を習得する楽しさがあり、大変だとは思いませんでした。学びを深めることで日頃の疑問が解消されることが非常に多く楽しかったです。

Q. 職場からはどのような支援がありましたか

A. 自施設で実習をしたのですが、看護部から診療部に特定行為と実習について説明していただきました。7区分、12行為の実習で各5症例が必要なところ、実習症例の総数は150と看護部、診療部のサポートを受けながら実習を行うことができました。

修了後は、速やかに実施した方が良い特定行為を行うために、スタッフナースとしての業務調整をしていただいています。さらに、医師からの包括指示の範囲内で検査オーダーなどを代行入力するためのオーダリングシステムを構築してもらい特定行為の適時実践につながっています。

Q. 資格取得後、
仕事にどのような変化がありましたか

A. 医師とディスカッションする事が増えました。また、医師の指示に対して同僚看護師が疑問に思うことを訊かれるなど医師と看護師の間に立つ場面が増えたように思います。



profile

所属施設・部署：済生会川口総合病院（川口市）ICU
2015年 救急看護認定取得 2020年 特定行為研修修了（主に救急・集中領域）

Q. これからどのような「看護」を
目指すのかお聞かせください

A. 特定行為を実践するなかで大切にしていることは「看護としての成果」を必ず考えることです。特定行為は、患者のすぐそばにいる看護師だからこそその変化を速やかに捉え、アセスメントと評価を繰り返し、必要な場合にタイムリーに医療を提供できるものであると思います。クリティカルケア領域で救命率の向上や重篤化回避、合併症予防への一助を担うだけでなく、タイムリーな医療提供から患者を「生活者」に戻すための看護を目指していきたいです。将来的には、看護師が特定行為を行う理由は何か、看護としての成果は何かを考えられる特定行為実践者を育成していきたいとも考えています。

管理者からのエール

済生会川口総合病院
ICU師長
田中 恵子 氏



研修受講にあたって、勤務の調整はしましたが、基本的には通常どおりでした。

研修修了後の活動に関しては医師への周知と、手順書に基づき実施しているという特定行為の権限を明確にするため、医師の包括指示や、検査指示等の特定行為実施によるオーダリングシステムの構築を行ってきました。

特定行為の実施場所は主に所属部署であり、2021年度4月～11月まで235件の介入実績を挙げています。最も多い医行為はICUでの人工呼吸器の設定変更、次に橈骨動脈ラインの確保です。特定行為介入に対して、スタッフからは「患者に変化があっても医師を待たずに早期介入できることで患者の苦痛を早く取り除くことができた」「看護師同士であり、相談しやすい」「自身の勉強につながる」等の声がありました。特定行為をアセスメントしながら実践していることで、受け持ちスタッフにも学びの機会となっており良い影響をもたらしています。

特定行為を行うことはその行為のみをアセスメントするのではなく、看護師として全人的な捉え方を深めていくことに意味があると思っています。「看護の心」を大切に後進育成につなげていくことを期待しています。



埼玉県ナースセンター



「埼玉県ナースセンター」は、埼玉県知事の指定のもと、埼玉県看護協会が運営している看護職のための無料職業紹介所です。

サポート対象

未就業者

再就業
希望者

在職者

求人施設

学生

就業支援の使い方

求人施設、求職者に無料でご活用いただけます！

インターネットで無料職業紹介をご利用いただけます

eナースセンターにご登録ください ※登録は、用紙の郵送や来所でも可能です。

看護職の方の登録(お仕事探し)

step 1 求職者登録

ご希望の条件を登録

PCやスマートフォンから
アクセスできます!



step 2 相談・紹介

登録条件を元にナースセンターがお仕事を紹介

step 3 見学・応募・面接

希望する職場の見学・応募・面接を調整
ご自身でもeナースセンターから応募OK

就職



求人施設の登録

step 1 施設情報登録

募集条件を求人票へ登録

step 2 求職者検索

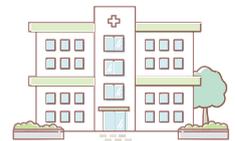
eナースセンターで求職者を検索し、
アプローチいただくことも可能

step 3 見学・応募・面接

ナースセンターからの紹介又は求職者本人
によるeナースセンターからの応募

求人施設へのサポート

- 対面・郵送・電話からの登録代行
- 条件登録や施設PR等
eナースセンター活用
のアドバイス
- 登録者とのマッチング



eナースセンター

<https://www.nurse-center.net/>



その他の活用方法

埼玉県ナースセンターは、看護職の相談員が対面や電話による丁寧な相談を心掛けて様々なサポートを提供しています。

未就業・就業中の方

よくあるご相談



私にはどんな仕事があうのだろうか？看護職の働き方をよく知っている人に相談したい

転居、出産、介護などでライフスタイルが変わったので、働き方を相談したい

専門性の高い職場でスキルアップしたいので相談したい



看護職であり、現場をよく知る相談員がお話を伺います

退職される方

お知らせ



免許をお持ちで、その仕事に就いていない方にナースセンターへの届け出が努力義務とされています

看護師等の届出サイト

とどはるん

埼玉県看護協会
ホームページより
アクセス

再就業希望の方

よくあるご相談



空いている時間で仕事がしたい

離職期間が長い、職歴が短い、臨床経験が少ない、技術に不安がある



復職の不安を軽減する講習会を開催しています

今の看護現場を体験する
「再就業技術講習会」

不安な技術を集中して学ぶ
「オーダーメイド技術講習会」

学生のみなさん

よくあるご質問



保健師・助産師・看護師・准看護師になるにはどうしたらいいの？

看護職にはどのような職場があるのか知りたい



「看護への道」進路相談会の開催等の進学支援事業を行なっています

会員・非会員を問わず埼玉県内での就業を希望する
保健師・助産師・看護師・准看護師の“働く”をサポートします

お問合せ

埼玉県看護協会 ナースセンター

048-620-7337

受付

祝日を除く月曜日～金曜日
9:00～16:00

https://www.nurse-saitama.jp/about_nursecenter/



★ THANK YOU ★
アンケートへのご協力ありがとうございました

129号アンケートにたくさんのご意見をお寄せいただきました。一部をご紹介します。

● 興味をひかれた記事

- 1位 保健師の現場より「鴻巣保健所」
感想
コロナ禍で閉塞感がありましたが、他施設などの取り組みを知ることができ、場所は違っても皆頑張っているんだと心強く感じました。
- 2位 訪問看護師の工夫“今こそ見直す感染対策”
感想
記事を読んで、原点に戻り基本的感染対策の見直しことができました。これまでの方法があっていたのか、確認する意味でも学べました。

● 令和3年度限定！「会員様限定グッズ」にたくさんのお声をいただきました

- お花の柄がとってもかわいくて、ロゴもデザインに馴染んで素敵です！
- カレンダーは筒状の部分に文具たてを入れて使います！
- 年末にプレゼントをいただくとうれしいです！
- 花のデザインが、心をととてもあたたくしてくれました！

長きにわたるコロナ禍、会員の皆さまに少しでも癒しの時間をとって作成いたしました。お一人あたりの経費は最小になるように工夫をいたしましたが、多くのお声をいただきスタッフ一同感謝しております。安寧の日はなかなか訪れませんが、皆さまの日々の中に埼玉県看護協会の存在を感じていただけましたら幸いです。

▼ INFORMATION

会員管理担当よりお知らせ

令和4年度

入会・継続について
手続きが開始しております

令和4(2022)年度より、新規入会・再入会の方は日本看護協会キャリアース(WEB)からの入会手続きがおすすめです。また継続(施設とりまとめ、コンビニ収納、銀行振込で納入)の方は、納入手続きをください。なお、継続しない方は退会手続きが必要です。詳しくはホームページをご覧ください。

埼玉県看護協会 令和4年度 入会・継続について
https://www.nurse-saitama.jp/join_guide-2-r4/



看護職賠償責任保険制度について

※看護職賠償責任保険制度は更新手続きが必要です

開業助産師を除く日本看護協会会員であれば、どなたでもお申込みいただけます。

日本国内で看護職が行う業務によって、他人の身体や財物に損害を与えたり、人格権を侵害したため、法律上負担しなければならない損害賠償責任を補償します。

日本看護協会だからこそのスケールメリットによる掛け金、また加入者専用相談窓口では、医療事故が発生した場合の相談対応・支援、医療安全、ハラスメント等の相談も可能です。毎年4/1から翌年4/1までの一年単位の契約です。加入されている皆様は、**補償期間終了前に更新手続きをおこなってください。**

看護職賠償責任保険制度
<https://li.nurse.or.jp/>



編集後記

広報委員会

コロナ禍に突入し、約2年が経ちました。この間、ワクチンや内服薬が開発され、また、対症療法等に関しても多くの経験から知見を得ました。私達は、COVID-19に対抗することのできる武器を少しずつ増やすことが出来たと思います。しかし、感染拡大の波が来る度に日常生活は自粛され、感染の不安に脅かされ、心休まることのない2年間でした。当然のことですが、それでも時間は流れていきます。自粛や驚異の中でも、できることには取り組み、前に進まなければなりません。「現状維持では後退するばかり」今回の特集は看護職個人個人のキャリアを考える上で参考になる内容でした。本号編集に際し、ご協力くださった全ての皆さまに感謝申し上げます。

広報誌「さいたま」130号はいかがでしたか？アンケートにお答えいただいた方の中から抽選でプレゼントが当たります。奮ってご参加ください。

- ◆応募締切:2/28(月)まで
- ◆抽選で30名様にクオカードをプレゼント

▼アンケート内容

- 1 興味を引かれた記事はありましたか。
- 2 令和4年度は、どのような研修を受けてみたいですか。
- 3 特集記事で読んでみたい内容をお教えください。
- 4 本号へのご意見、ご感想をお聞かせください。
- 5 プレゼントに応募される方は、お名前、郵便番号、住所をご入力ください。



回答はこちら



QUOカード
500円分
プレゼント!!

